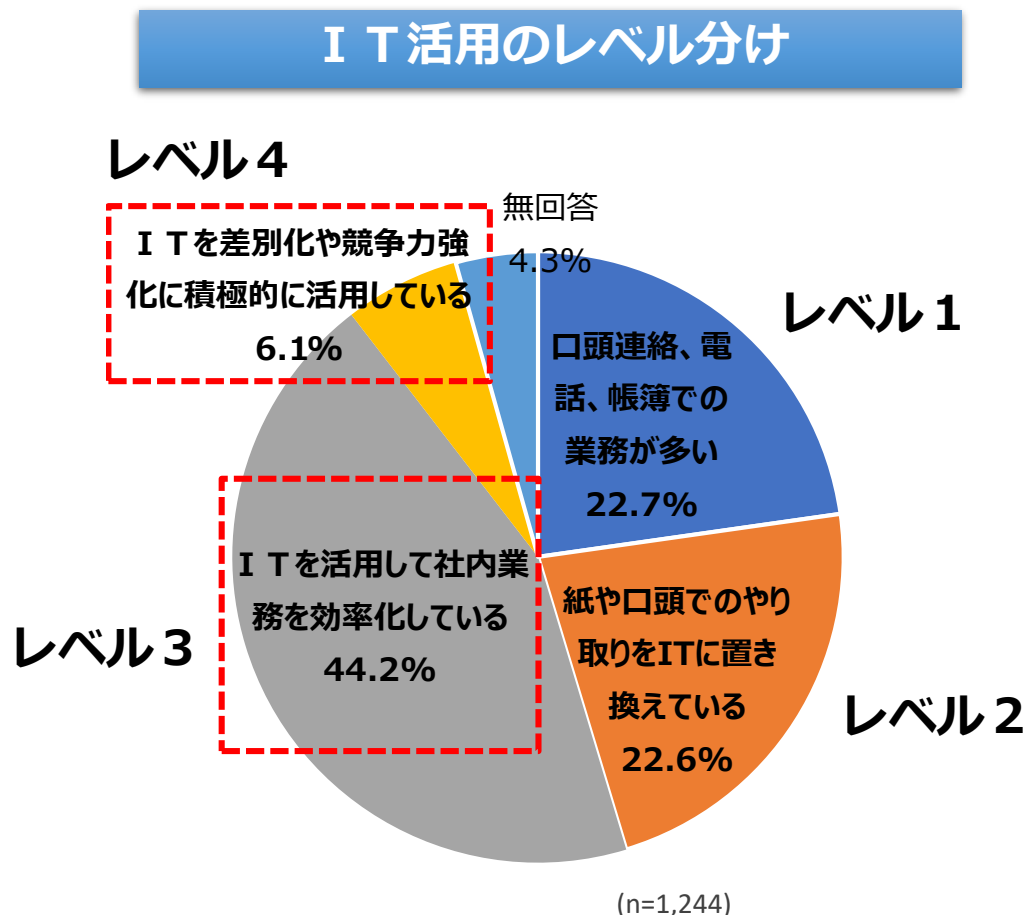


D X ・ G X 人材の確保 ・ 育成 に向けた取組 ・ 支援について

**2022年10月18日
東京商工会議所**

1. IT活用の状況

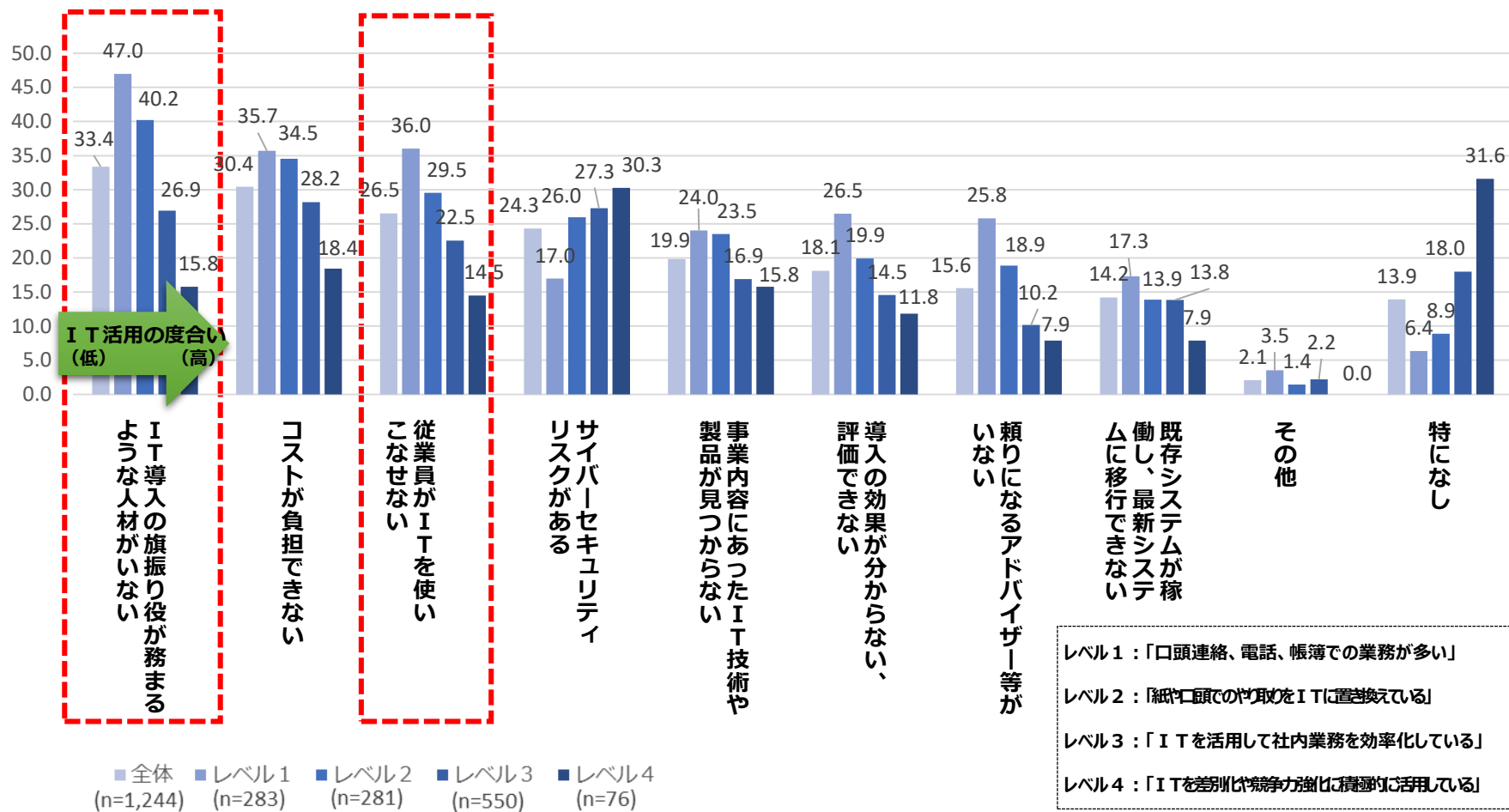
- 2021年2月公表の東京商工会議所の調査では、中小企業の約7割（72.9%）が何らかのITツールを導入しているが、ITを「活用」できている企業（レベル3～4）は約半数にとどまっている。



出所：「IT活用実態」（2021年2月 東京商工会議所）

2. IT活用の課題

○ ITツール活用上の課題としては、IT活用度が低い企業ほど、「IT導入の旗振り役が務まるような人材がない」、「従業員がITを使いこなせない」といった、使い手である人材や従業員のノウハウの不足を挙げる割合が多い。



出所：「IT活用実態」(2021年2月 東京商工会議所)

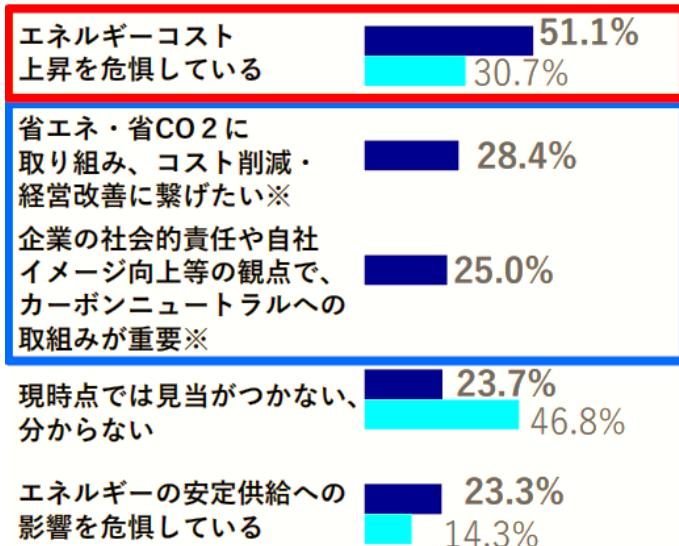
3. カーボンニュートラルへの対応の課題

- 2022年8月の日本商工会議所の調査によれば、2050年カーボンニュートラル実現に向けては、足元で影響が大きい「エネルギーコスト上昇を危惧」する声が5割を超える一方、コスト削減等経営改善の観点から省エネ・省コストへの取組や、企業の社会的責任等の観点から取組が必要と考える企業も一定割合ある。
- しかしながら、CO2等の温室効果ガス排出削減への取組について、具体的なアクションを起こせていない企業も多い。

2050年カーボンニュートラルに対する考え・対応

【複数回答・上位5項目】

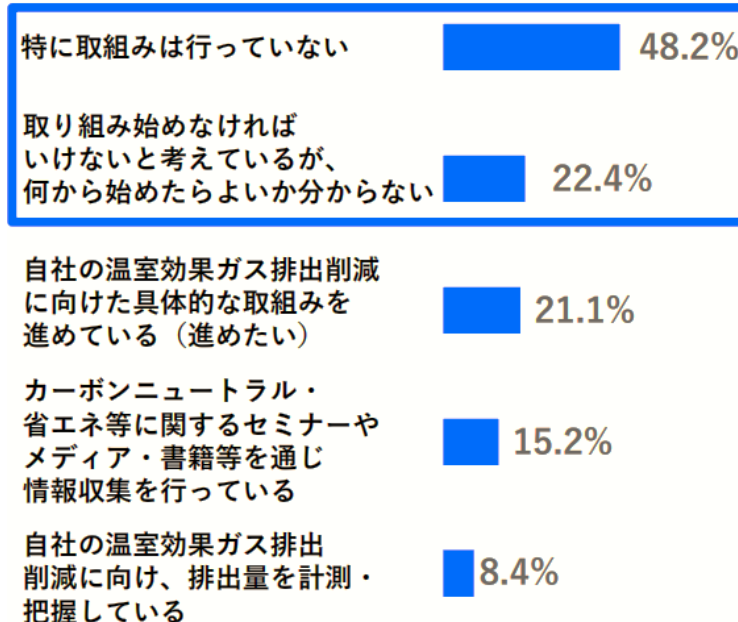
■ 2022年8月調査 ■ 2021年8月調査



※2022年8月調査にて追加した項目

CO2等の温室効果ガス排出削減に向けた取組み

【複数回答・上位5項目】



出所：LOBO調査（2022年8月 日本商工会議所）

IT化推進への支援

○「はじめてIT活用」1万社プロジェクト
…中小企業でも導入しやすい、簡単・便利で安価なITツールの活用を3年間で1万社に提案。



○DX人材育成に資する各種研修講座の実施
…RPAの活用、ビジネスデータの活かし方などDX推進、IT活用人材の育成に資する研修講座を実施。



カーボンニュートラル対応への支援

- 「知る・測る・減らす」の3ステップ支援
 - ・知る：東商eco検定（受験者のべ54万人）を通じた「エコピープル」育成、省エネ・脱炭素関連セミナーの実施
 - ・測る：CO2チェックシートの提供
 - ・減らす：補助金等活用による設備導入等



○HTT〈H減らす・T創る・T貯める〉周知
…都内事業者の向けに、東商ホームページで特設サイトを設け、省エネ・脱炭素の取組を呼びかけ。



挑みつづける、変わらぬ意志で。

